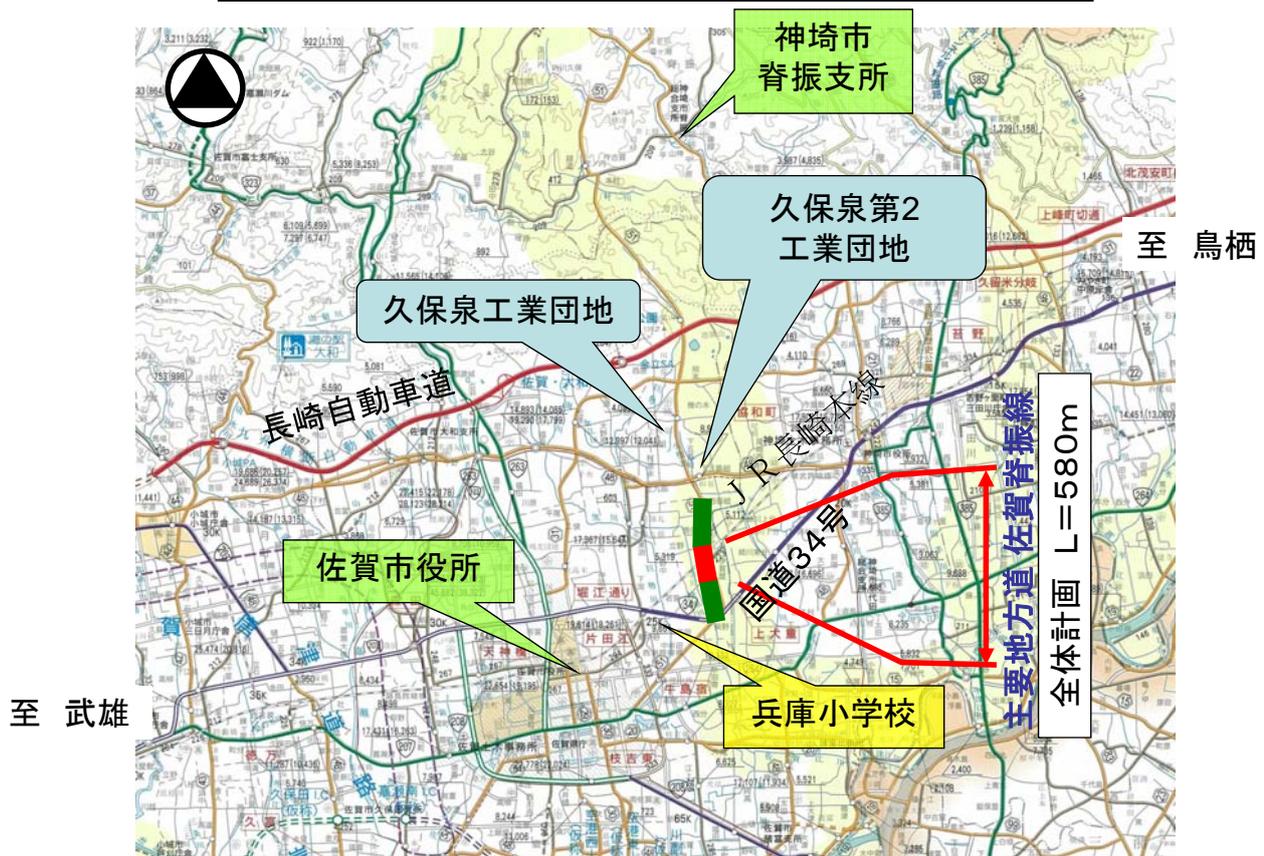


平成25年度 再評価委員会

路線名: 主要地方道 佐賀脊振線
事業名: 社会資本整備総合交付金事業
(再評価実施後5年経過のため再評価)

主要地方道 佐賀脊振線 位置図



事業目的

佐賀市



神崎市脊振町

交流を支えるため
重要な道路

また、兵庫小学校
の通学路

しかし、現道は・・・

幅員が狭いことから、車や自転車歩行者の通行に支障

よって、改良により

交通の円滑化と交通安全を確保
生活圏間の交流を支える

現道状況

幅員狭小状況



幅員狭小状況



混雑状況



歩道未整備箇所の歩行者
が危険な状況



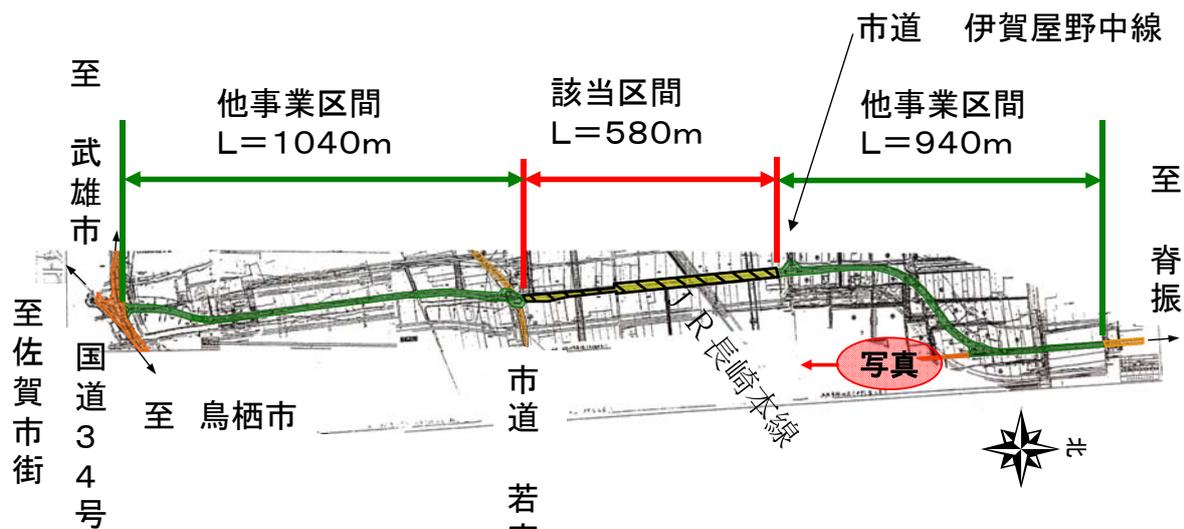
事業概要

- 全体事業費: 24億円
- 工期: 平成8年度～平成30年度(予定)
- 全体延長: L=580m
- 事業内容: 改良工 L=580m
 橋梁工 1橋 (跨線橋 L=41m)
 用地買収 11,000㎡

事業の進捗状況

	平成24年度まで	平成25年度	平成26年度以降
事業費(億円)	2.5	0.2	21.3
進捗率(%)	10.3	11.2	100.0
用地進捗率(%)	99.3	100.0	100.0

主要地方道 佐賀脊振線 平面図



凡例	
黒	平成24年度まで
赤	平成25年度施工箇所
黄	次年度以降施工箇所

平成25年 現地状況



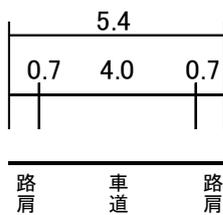
起点側から終点側を望む



前後区間の整備状況

主要地方道 佐賀脊振線 横断図

現況



計画



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の推移(現道)
平成11年度 7,890台/日
平成17年度 6,747台/日
平成22年度 5,875台/日
- 現道の幅員狭小により、通行に支障を来していることが要因と推定される交通量の減少が見受けられるが、久保泉工業団地及び久保泉第2工業団地が整備されており、当該箇所が整備されれば交通量の回復・増加が見込まれる。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比(B/C)} = 26.4 / 21.3 = 1.2$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	25.0億円
走行経費縮小便益	=	0.8億円
交通事故減少便益	=	0.6億円
合計		26.4億円
- 【費用】

事業費	=	21.0億円
維持管理費	=	0.3億円
合計		21.3億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 依然として危険な状況が解消されておらず、交通の円滑化と交通安全の確保を図るため、事業を継続したい。
- また用地買収がほぼ完了していることから、全区間の早期供用を図るため、事業を継続したい。